

諸家系譜

位

乙田藤堂

太政官文庫
和書門
三三六四九
二三九
茶屋敷

共二百廿五内

内閣文庫
和書類
三三三〇九
三三五
函架

共八十五

内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (64)
函號	155 23



巳
村



一系譜

未
上
り
り
り
り

後
氏
百
孫
喜
海
因
り
り
り

二
家
三
回
り
り

5

又

源姓

戸田

先祖戸田源右衛門左衛門長房
中納言他二男也此男長房長房長房
戸田白根源右衛門長房

長房
長房

源右衛門長房

村上天皇系長房平親之山子久勢也此長房源氏也
七代源長房長房長房長房長房長房長房長房長房
長房源氏也此男長房長房長房長房長房長房長房長房
長房源氏也此男長房長房長房長房長房長房長房長房

山量

支級 小元

廣二の一人
子田生仍也

母 三田常力丸春女

妻 下多乃世正統嫡
下多乃世正統嫡
白糸女

右氏身統中誠女也

三田常力丸春女
氏身統中誠女也

大教云

唐及之庚寅年二月
外教從信下 信侍他知
是云然因云 相瓜 官在川九七

大教云

年月不知水川町
以承通云云己年三月
同年中平九月十九日
以廣元未平西九月
同二丁百平九月十九日
百位元未平九月十九日

新院

同日辛七年九月十九日
宣文二之庚年九月十九日
同日庚申年九月十九日

此部督之... 従之信不待... 従之任

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

同丁... 丁... 丁...

河本公 乃河本氏子石山公孫子也

同年三月廿七日卒 享年七十有九

同三丙申年三月廿七日卒 享年七十有九

山脈全在河本氏之領地 同本公在河本氏

同甲丁亥年三月廿七日卒 享年七十有九

河本二國公之油所由元所由也

同六月廿七日卒

河本公孫子河本氏子也

同甲申年三月廿七日卒 享年七十有九

同甲申年三月廿七日卒 享年七十有九

信乃河本氏子也 同甲申年三月廿七日卒

同甲申年三月廿七日卒 享年七十有九

某 之水

其 孫女

其 孫女

其 孫女

其 孫女

其 孫女

其 孫女

其 孫女

其 孫女

其 孫女

其 孫女

其 孫女

右女水好隆甚女

女子

松平源左衛門定隆

一、女、實子、内、弟、女、正、信、七、男、戸、田、源、左、衛、門、女、
正、信、氏、中、女、也

系

不知

右、言、源、左、衛、門、出、也

富永六乙巳年三月廿九日
法華台刊陀圖達自達

氏平

實子

戸田六乙子 如左、源、左、衛、門、
内、女、源、左、衛、門、信、有

妻

水好隆甚女

妻

家女

妻

實子中、替、南、氏、出、也

元禄十丁巳年江戸出也

實子、後、信、有、妻、為、合、在、東、信、廣、甚、女、正、信、氏、中、女、也

富永六乙巳年三月廿九日、表、下、表、下、表、下、表、下

同、七、庚、寅、年、三月、廿九日、出、也、信、有、氏、中、女、也

文明公沙比

實子、二、丁、巳、年、七月、廿九日、出、也、信、有、氏、中、女、也

同、三、壬、午、年、四月、廿九日、出、也、信、有、氏、中、女、也

同、四、乙、未、年、十月、廿九日、出、也、信、有、氏、中、女、也

法起御所若狭佐山日記

女官

戸田通七郎

母 祖父母御所御所女

妻 御所御所女

重保之御所御所七郎御所御所

同老主御所御所御所御所

右衛門尉 御所御所御所

重保之御所御所七郎御所御所

同老主御所御所御所御所

重保之御所御所七郎御所御所

同老主御所御所御所御所

同老主御所御所御所御所

同老主御所御所御所御所

同老主御所御所御所御所

大納言御所御所御所御所

同老主御所御所御所御所

大納言御所御所御所御所

同老主御所御所御所御所

大納言御所御所御所御所

大納言御所御所御所御所

同老主御所御所御所御所

同老主御所御所御所御所

同老主御所御所御所御所

大納言 所奉仰之 日之川殿 亦如之 日守之 故所死 時

内閣 又 亦如之 日守 内閣 又

同于 康慶 亦如之 日守 亦如之 亦如之

大納言 亦如之 日守 亦如之 亦如之 亦如之

日守 亦如之 亦如之 亦如之

大納言 亦如之 亦如之 亦如之

日守 亦如之 亦如之 亦如之

大納言 亦如之 亦如之 亦如之 亦如之 亦如之

日守 亦如之 亦如之 亦如之

日守 亦如之 亦如之 亦如之 亦如之 亦如之

大納言 亦如之 亦如之 亦如之

大納言

大納言

大納言 亦如之 亦如之 亦如之

大納言 亦如之 亦如之 亦如之 亦如之 亦如之

大納言 亦如之 亦如之 亦如之

大納言 亦如之 亦如之 亦如之 亦如之 亦如之

大納言

大納言 亦如之 亦如之 亦如之

大納言 亦如之 亦如之 亦如之 亦如之 亦如之

昭和二十五年三月廿九日
日守の諸君へ
日守の諸君へ

前書雁之稱 所係強々に出日之 所係行日之 所係
今亦致時後二日守の諸君へ 所係行日之 所係

同日守の諸君へ 所係行日之 所係
同日守の諸君へ 所係行日之 所係

去日守の諸君へ 所係行日之 所係
同日守の諸君へ 所係行日之 所係

同日守の諸君へ 所係行日之 所係
同日守の諸君へ 所係行日之 所係
同日守の諸君へ 所係行日之 所係

今日守の諸君へ 所係行日之 所係
同日守の諸君へ 所係行日之 所係
同日守の諸君へ 所係行日之 所係

本日守の諸君へ 所係行日之 所係
同日守の諸君へ 所係行日之 所係

同日守の諸君へ 所係行日之 所係
同日守の諸君へ 所係行日之 所係
同日守の諸君へ 所係行日之 所係
同日守の諸君へ 所係行日之 所係
同日守の諸君へ 所係行日之 所係

四神
大依
三塔

日
日
日

日七
日七
日七

大御
日七
日七

日八
日八
日八

日九
日九
日九

日十
日十
日十

日十一
日十一
日十一

日十二
日十二
日十二

日十三
日十三
日十三

日十四
日十四
日十四

日十五
日十五
日十五

日十六
日十六
日十六

日十七
日十七
日十七

大納言... 上... 申...

同... 申...

同... 申...

大納言... 申...

申...

同... 申...

同... 申...

申...

同... 申...

同... 申...

同... 申...

同... 申...

申...

同... 申...

大納言... 申...

申...

同... 申...

同... 申...

同... 申...

大納言... 申...

大納言... 申...

申...

同... 申...

同... 申...

日本書紀... 卷之...

日本書紀... 卷之...

大和天皇... 元年...

天皇...

天皇...

天皇...

天皇...

日本書紀... 卷之...

日本書紀... 卷之...

天皇...

天皇...

天皇...

天皇...

天皇...

天皇...

右如女
其母於及子年...
物也...
了...
女子...
出...
元元

其母於...
元元

女子
贈...

其母...
其母...
實...
其母...

女子
其母...

女子
其母...
明和八年...

年倚

戸田傳信 父守中 高云

母 戸田信成

佐力信下 信成

書 戸田信成 傳信

右書

寛政之元年八月十日、御座之信成、新中、高云、
多振、母、信成、信成、信成、信成、信成、信成、
信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成 信成、信成、信成、信成、

右の信成

寛政二年己卯三月廿七日、信成、信成、

寛政元年己卯年九月廿七日、信成、信成、

御座之信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、信成、

未三ノ...

系譜

再修
甲子
乙未
丙申
丁酉
戊戌
己亥
庚子
辛丑
壬寅
癸卯

...

...

...

...

善原

戸田

是種... 戸田... 敬

善原
家

戸田

氏

母 昭和... 長

神皇正統記

宣文甲辰傳了りて西に

書 中作大陽宮正統記

此圖並前にも

卷末の河代印流形也

慶安元年正月十日知事の御書に

河代分知りて

明在爾久未事ありて、中世性類書に

おぼしめし

宣文元世年よりして

河代分知りて

延宝元年よりして

因るに年よりして

首の考案 法名初高師米五列信美之

養正及新系卷の考一徳

印流形考案の考一徳

氏流

種

石見考 休海考

母 中作大陽宮正統記

書 保神淨心志正業

卷末の河代印流形也

延宝六年年日月の念金の申と云

為有るに 門内之高知のれと云

之原二己年申すに 門内高知のれと云

石名高知

同六年三月九日 高知府正書

同七年三月九日 高知府正書

同七年三月九日 高知府正書

同七年三月九日

同七年三月九日 高知府正書

同七年三月九日 高知府正書

同七年三月九日 高知府正書

同七年三月九日 高知府正書

羊子

氏道

申すに 高知府正書

延宝六年年日月の念金の申と云

為有るに 門内之高知のれと云

之原二己年申すに 門内高知のれと云

石名高知

女子

申すに 高知府正書

延宝六年年日月の念金の申と云

東

之御用年

年也

権印 印紙

氏帯

母 保科源右衛門景如

書 山崎道三郎 正房 母

元禄九年三月廿七日

石山御殿

元禄九年三月廿七日

四月廿一日

五月廿一日

六月廿一日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

〇一〇月廿二日
 〇一〇月廿三日
 〇一〇月廿四日
 〇一〇月廿五日
 〇一〇月廿六日
 〇一〇月廿七日
 〇一〇月廿八日
 〇一〇月廿九日
 〇一〇月三十日

法号法信公真善堂通

氏音

卷一四

〇一〇月廿二日

元文九年...

有任...

〇一〇月廿二日

氏音

母

〇一〇月廿二日
 〇一〇月廿三日
 〇一〇月廿四日
 〇一〇月廿五日
 〇一〇月廿六日
 〇一〇月廿七日
 〇一〇月廿八日
 〇一〇月廿九日
 〇一〇月三十日

印書

片山 氏

母 同上

妻 津田氏宗新教女

正室 八女年十一 母 印書出也

右 正室 氏第之長女 津田氏宗新教女 母 印書出也

庶子 三子 津田氏宗新教女 母 印書出也

元文三年年十一 在江都 色 黒川

延享元年年十一 在江都 色 黒川

有任下 印書

富厚 元平年 印書 津田氏宗新教女 母 印書出也

同 富厚 元平年 印書 津田氏宗新教女 母 印書出也

富厚 元平年 印書 津田氏宗新教女 母 印書出也

山崎 任人 同 津田氏宗新教女 母 印書出也

同 月 元平年 印書 津田氏宗新教女 母 印書出也

同 月 元平年 印書 津田氏宗新教女 母 印書出也

津田 氏宗新教女 母 印書出也

正室 津田氏宗新教女 母 印書出也

母 同上

正室 津田氏宗新教女 母 印書出也

口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...

女子 母 子 女

口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...

女子 母 子 女

氏元

口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...
 口年子...

宣徳十一年三月廿一日 宣徳州 出陣出せ

石見中津藩 宣徳子 宣徳

宣徳之四年 宣徳子 宣徳

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

女子

女 家女

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

宣徳子 宣徳子 宣徳子 宣徳子

四和七宮... 山八...

法明... 山九...

山九... 山八...

山七... 山六...

山六... 山五...

山五... 山四...

山四... 山三...

女子

山三... 山二...

氏重

廿八

如 妻

右様は御父の御子に御座り候御事候に御座り候
天保七年申年十一月廿八日御座り候御事候に御座り候
左様は御父の御子に御座り候御事候に御座り候
寛政元年御座り候御事候に御座り候

女子

如 妻

御父の御子に御座り候御事候に御座り候

女子

如 妻

御父の御子に御座り候御事候に御座り候

氏重

廿八

如 妻

御父の御子に御座り候御事候に御座り候

海保六年申年十一月廿八日御座り候御事候に御座り候

私伝

寛政六年申年十一月廿八日御座り候御事候に御座り候

御父の御子に御座り候御事候に御座り候

御父の御子に御座り候御事候に御座り候

御父の御子に御座り候御事候に御座り候

1743年より石川山崎
同土平年より石川細川氏
1745年より石川氏より

氏遷

母 氏女 石川氏より

女子 母 石川氏より

母 氏女

女子 母 石川氏より

母 氏女

女子 母 石川氏より

右の通り

三子 寛政 石川氏より
石川氏より 石川氏より
石川氏より 石川氏より

寛政十七年十一月

石川氏より
石川氏より
石川氏より

二

系譜

系十百廿三
若原伊加多小外

改若原
不取三田定之也

若原氏
百七孫抄番
堀田定之為

河内院為若原河内院

戸田三王水

夏系姓

之田

菅之紋 九曜

赤之紋 九曜

物持之氏也

氏也

母 禁裏所 中根方湯子正成女

近江三守年 少孫其石

其後入河内守其考其子其位
其孫新入之久保云其子其位

寛政二年九月之九
其下は通達文書 別冊に法巻合性

氏親

若也

寛政川初月 主信三男

寛政川上同平 心利也

若也

元禄五年九月 若也 内月之

元禄六年 若也 内月之 内月之 内月之 内月之

元禄七年 若也 内月之 内月之 内月之

元禄八年 若也 内月之 内月之 内月之

元禄九年 若也 内月之 内月之 内月之

元禄十年 若也 内月之 内月之 内月之

寛政之中年 若也 内月之 内月之 内月之
元禄元年 若也 内月之 内月之 内月之
元禄二年 若也 内月之 内月之 内月之
元禄三年 若也 内月之 内月之 内月之
元禄四年 若也 内月之 内月之 内月之
元禄五年 若也 内月之 内月之 内月之
元禄六年 若也 内月之 内月之 内月之
元禄七年 若也 内月之 内月之 内月之
元禄八年 若也 内月之 内月之 内月之
元禄九年 若也 内月之 内月之 内月之
元禄十年 若也 内月之 内月之 内月之

其下は通達文書 別冊に法巻合性

氏親

若也

寛政川初月 主信三男

寛政川上同平 心利也

若也

元禄五年九月 若也 内月之 内月之 内月之

元禄六年 若也 内月之 内月之 内月之

新子記

寛保元年六月十日田舎御書
寛保二年三月三日入内侍御書
延享二年三月三日入内侍御書
天明三年三月三日入内侍御書
寛政元年十月九日御書
天明元年十月九日御書

氏白

氏白 御書 御書 御書

寛政元年

寛政元年 御書 御書 御書

寛政元年 御書 御書 御書

寛政元年 御書 御書

元文二年

元文二年 御書 御書

元文二年 御書 御書

元文二年 御書 御書

元文二年 御書 御書

元文二年 御書 御書

元文二年 御書 御書

元文二年 御書 御書

元文二年 御書 御書

元文二年 御書 御書

元文二年 御書 御書

天功口尾年一月十日長傷(真)
口年三月十八日河内郡人全十宿(真)
天功口尾年十月十日長傷(真)
長傷(真)
長傷(真)
長傷(真)
長傷(真)

東 昔の天

母 公 孫 田 之 口 孫 孫 子

口年三月十八日河内郡人全十宿(真)
天功口尾年十月十日長傷(真)
長傷(真)
長傷(真)
長傷(真)
長傷(真)

天功口尾年一月十日長傷(真)
口年三月十八日河内郡人全十宿(真)
天功口尾年十月十日長傷(真)
長傷(真)
長傷(真)
長傷(真)
長傷(真)

女 菅 戸 田 之 氏 及 書
母 音

女 三
母 菅 氏 女

某 年 々 々
母 音

寛政丁未年六月廿二日

石 通 山 住 山 住

三 五 百 名 是 後 亦 有
印 出 三 行 物 也 進 分 丁

寛政丁未年 戸 田 三 五 百 名 之 氏
三 五 百 名 之 氏

本 家 菅 氏
寛政丁未年
三 五 百 名 之 氏 出

三 五 百 名 之 氏
三 五 百 名 之 氏 〇
三 五 百 名 之 氏

菅 氏 女 正 分
系 譜

菅 氏 女
三 五 百 名 之 氏
戸 田 大 膳

幕末姓

产田氏

古代十由後产田一政候意之儀

产田宗正氏教

幕末之儀

古代六ツ星

家之勢

蛇ノ目

大藏冠清是二孫六世後之南十田

产田宗正氏信北男

氏

源信定

源一之

信定

皇 帝澄向

外

妻 子

寛永十七年八月廿一日

延寶二申年三月八日及人元始了於通也

延寶二申年三月八日及人元始了於通也

延寶二申年三月八日及人元始了於通也

延寶二申年三月八日及人元始了於通也

蓮光寺号超倫院常觀養永

宗

宗 子世

宗女

元禄元年九月十一日二年終了

氏

教覺如幻

氏

氏

宣父

宣父

宣母

宣母

宣父十三年

大氏

申年

申年

申年

五内長如友之海翁
正字子年六月乃卒歿七十八葬日尔
号梵馨虎瑞譽法音

宗 金三市 子世

母

宗女

享任子己年三月未一平之歳其日不号堂
光院圓念理月

中亮 岩升次子 主馬

岩母 比阿付

又又 子田家台 子田家台

室母

日

之田家台女

喜

山

左保之太夫也国也

高水元申金二月七不五地也

右氏亮如日性一性高水元の女

延子字の年八リハ、岩次子自跡小海屋入

岩母を乃らま也也 口三子りハハの地国

山院高水院

右所新板 右細多持

高水元之孫而年より子之年四歳之孫葉り不
号高軒院濟譽安山

女子 内元子 右所新板

氏住

女

女

女

女

母

女

西の山 中辰子 孫

杉下 辰子 孫

日女

子孫

由良 孫

日女

子世

日女

子孫

寅卯 辰子 孫

大正 孫

辰子 孫 大辰 孫 辰子 孫

女

大辰 孫

女

大辰 孫

女

大辰 孫

女

大辰 孫

女

大辰 孫

大辰 孫

大辰 孫

大辰 孫

大辰 孫

大辰 孫

大辰 孫

多利... 子泰隆... 養... 橋山

山

山... 之... 大...

母

母... 長...

母

母... 長...

母

母... 長...

母... 長...

天明... 母... 長...

天明... 母... 長...

天明... 母... 長...

天明... 母... 長...

天明... 母... 長...

天明... 母... 長...

天明... 母... 長...

天明... 母... 長...

天明... 母... 長...

天明... 母... 長...

天明... 母... 長...

天明... 母... 長...

女子

女子

女子

女子... 長...

女子... 長...

氏家

宗子孫

一

宗子孫

宣政六年壬午八月廿一日卒 享年七十有九 葬 山崎 氏家

宗

山崎 氏家

早世

石川 氏家

宣政六年壬午八月廿一日卒 享年七十有九 葬 山崎 氏家

宗子孫

氏家

宣政十三年十一月

宗子孫

氏家

系譜

宗子孫

氏家

高島姓

戸田氏

藤ノ紋

水曜

藤ノ紋

口

家ノ紋

口

初ノ紋

蛇自

高島正印定二男

定浩

定高

十三郎

三平

三郎

定高

四郎

五郎

母

定高

書

定高

乙卯六生... 氏... 生

國... 氏... 氏...

宗... 氏... 氏...

常...

乙卯... 氏... 氏...

有任...

宗... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

乙卯... 氏... 氏...

國於此步(西)而(東)其勢也

同年四月廿三日揚子城(揚州)陷(元)其勢甚危

其後

有任(元)之(元)而(元)其勢甚危

信云(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

同(元)而(元)其勢甚危

定侯

柳女命之命

母 子也

嘉 少御氣 山王系存也

宣保六 辛巳年三月廿六日若令存命定中如命

有任 特任 乙巳年三月廿六日

宣保二 乙巳年三月廿六日若令存命定中如命

女子 母 子也

宣保二 乙巳年三月廿六日若令存命定中如命

女子 母 子也

昨水戸藩家来た同中御方若令存命定中如命

女子 母 子也

宣保二 乙巳年三月廿六日若令存命定中如命

女子 母 子也

母 子也

新又主田治路者由房長女也如蘇蘇之明也
麻呂原曰甲戌年ハリトウ為死年二十三

女子

小室正親也長恒書

母 乙女

治路余去在河内者女也為从大日也政正也
乙女也女也父也乙也乙也乙也乙也乙也乙也
長恒書

乙女二女乙年乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙

但乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙
乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙
乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙
乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙

定談

乙女

母 乙女

定延元長年乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙

氏紹

十五所 乙女 乙女
小室正親也長恒書

書 増山河内乙女

乙女二女乙年乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙
乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙

寬保之乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙

寛延二二七三年 七月三日 父之水初死
同日八月三日 祖父初死 同日係 弟社
室所 七月三日 二子 女初死

惇信三 河内見沼下代初上

同日八月三日 高き水初死 初年 高き水初死

同日九月三日 高き水初死 初年 高き水初死

同日十月三日 高き水初死 初年 高き水初死

同日十一月三日 高き水初死 初年 高き水初死

天英初死二十七回 河内見沼下代初上

同日 女子年十力十力 高き水初死 初年 高き水初死

同日 女子年十力十力 高き水初死 初年 高き水初死

同日 女子年十力十力 高き水初死 初年 高き水初死

同日 女子年十力十力 高き水初死 初年 高き水初死

同日 女子年十力十力 高き水初死 初年 高き水初死

女子

高古休之印明書
小宮不石見書の女子

氏澄

如 如

書 之同書也 之教書也

明永三十四年上り書、下書、全核ありんが、
同八乙亥年、下り書、父書、屏風に記
同永三十四年、下り書、板倉佐列、
同永三十四年、下り書、同代人、
同永三十四年、下り書、同代人、

摺多、何の色、
同、西暦、
小宮不石見書、
同、同書、
寛政二、

天英院、
同、
同、
同、
同、
同、

同、
同、
同、
同、
同、
同、

同六甲寅年八月晦、於家内法門書
日九、乙未年八月、河見

忠寛

定右衛門 熊三郎

母 小女

寛政七年乙未年三月、山崎法門、山崎法門、
河見、熊三郎、右衛門、等

女子

山崎法門、山崎法門

山崎法門、山崎法門

母 小女

寛政六年乙未年三月、山崎法門、山崎法門

忠行

右衛門 忠四郎

母 小女

寛政九年乙未年八月、山崎法門、山崎法門、
山崎法門、山崎法門

某

長三郎

母 小女

某

早世

母 山崎法門

寛政七年乙未年八月、山崎法門、山崎法門

女子

早世

如

同上

寛政八丙辰年丁未月廿九日 尚書省 御免

東

壬午年

如

同上

右 色部 氏 上

之 向 某 氏 氏 持 多 介 弟
之 子 氏

印 同 三 所
世 國 氏 子

居 向 某 氏 所 持 後 所
下 向 某 氏 印 同 三 所 訓 書

寛政十丙午年

子 同 氏 氏

三十三歳



系譜

未下り書
酒井道正の書

系譜
酒井道正の書
酒井道正の書

と
友
新書

酒井道正の書
酒井道正の書
酒井道正の書

卷第氏

戸田

大藏府簿是、小十、孫國院、在、居、上、平、上、元、
大御、上、後、心、丸、号、無、心、任、人、三、由、及、一、氏、後、口、承

之由

家、之、故

丸、確

理、故

五、三、相

善、故

丸、確

三、田、平、居、二、男

三、田、正

十、八、子

母、弟、急、書、子、也

大藏、内、代、奉、月、不、知、之、是、賜、也、平、名、國、二、平、云
實、文、三、行、平、十、百、丸

葉經年過而幼下天能說天能家以素之勤也

主之節 乃

母之節 乃

寬政三年正月四日

元治三年七月廿九日

葉經年過而幼下天能說天能家以素之勤也

送時 乃

實父不氣

生也極也

元治三年正月

包承二年正月

正治三年九月廿九日

葉經年過而幼下天能說天能家以素之勤也

時照 乃

實母不氣

實母不氣

實母不氣

實母不氣

實母不氣

實母不氣

實母不氣

實母不氣

實母不氣

時比 市下

實 門高屋原 野向 玄孫 阿部 二男

實母 河内 山崎 忠三 女

妻 實父 河内 山崎 忠三 女

實母 山崎 忠三 女

小節

實保 元年 正月 十日 卯時 生 父 山崎 忠三 母 山崎 忠三 女

實心 元年 正月 十日 卯時 生 父 山崎 忠三 母 山崎 忠三 女

實和 元年 正月 十日 卯時 生 父 山崎 忠三 母 山崎 忠三 女

布衣

實哲 元年 正月 十日 卯時 生 父 山崎 忠三 母 山崎 忠三 女

實忠 元年 正月 十日 卯時 生 父 山崎 忠三 母 山崎 忠三 女

實白 元年 正月 十日 卯時 生 父 山崎 忠三 母 山崎 忠三 女

女

實父 為 實女

母 山崎 忠三 女

女

實父 為 實女

母 山崎 忠三 女

時 一 山崎 忠三 女

實 山崎 忠三 女

實母 山崎 忠三 女

妻 實父 山崎 忠三 女

實母 山崎 忠三 女

實 山崎 忠三 女

實母 山崎 忠三 女

實 山崎 忠三 女

日平乃月影西月見
明和元年十一月二十七日十月廿九日入本寺之志麻呂足
明和二年十一月廿八日方為安入妻能人本座麻呂能足
明和三年十一月廿九日自
安永四年十一月廿九日
天明六年十一月廿九日
安永四年十一月廿九日
天明六年十一月廿九日
安永四年十一月廿九日
天明六年十一月廿九日

女次
母三國良女

東 年 廿 二 一
母 杉 年 廿 五

時保 年 廿 二 一
母 青 年 廿 五

書 田 川 門 圓 行 行 之 七 弟 女

娘 嘉 而 九 弟 在 山 之 下 門 再 叙 女

天 明 六 年 年 十 二 月 廿 九 日 自 大 門 門 出 行 死

去 前 八 年 年 十 二 月 廿 九 日 自 大 門 門 出 行 死
寛 政 九 年 年 七 月 廿 九 日 自 大 門 門 出 行 死
安 永 四 年 年 七 月 廿 九 日 自 大 門 門 出 行 死

寛政九年己卯年三月廿七日
寛政七年己卯年三月廿七日
福山守一 三月廿七日
大妻 山崎あり 寺あり 書

母 母

母 母

母 母

母 母

時節 新
母 母

母 母
母 母
母 母
母 母

石通河原以上
上流山形郡
生山氏
山崎あり 寺あり 書

寛政十一年八月

壬午子助

三十一

印

未十
日勢日向

系譜

源新

清和源氏
日向重隆
○ 日向重隆

西凡山書院書

日向日向

日向平之丞

清和源氏

亦苗裔

申身戸田

先祖源氏清和成德義三子國孫
不知居位仕小

檢規極 所奉公仕家名成福中出也

天正十二年申年以尾長久子

所降之公供在仕於小牧義河地仕小

所成祖高成字帝恒正公孫

公之孫山崎光成字年所所奉公

而仕の門

甲午月日不知恒直宿死仕の位
於現藤達 沖字之身活与成恒信家為

石外之男子云云或一方事家

所為の処を以成恒信自身事家

力成之其成の勢也何れも中の中

右之身有之少美而中之身事也其連

之退也其中国之利長也 如使也其國

形村不知后信任事御之身事也其首

右之身事也其政中

幕 致 五 九

家 致 六 星

智 致 九 六 星

表 冠 名 陸 貞 七 弟 為 陸 貞 海 乳
表 冠 名 陸 貞 七 弟 為 陸 貞 海 乳

成 恒

母 不知

書 三田某女

年 号 月 日 不知 是 何 國 之 出 生

年 号 月 日 不知 是 何 國 之 出 生

檢現様は河守公仕三河國不知位依仕也
今村不知多地知中事知事任意
徳川四年月日不知
天正三 甲申年行り虎別長久之
所給し給侍奉仕於小牧家日
不知討死仕中仕給し右藏不知
葬地并法名不知

恒直

河恒直

源三平

母

戸田系女

妻

戸田系女

年号月日不知三河國不知生仕也
天正十二 甲申年 月日不知父并侍
成恒直給武仕中仕給し右藏不知
所奉公未仕也
同年月日不知病死仕也葬地不知
葬地并法名不知

恒直

河恒直

戸田系女

母

戸田系

妻

高岩

天子八原歷年四月而三河國平定
田主甲申年尾列長子所居之
父身存成德寺村死住身及妻
子身唯遺一孫武子年五歲大甲申
子也住之

松根孫達

河原守孫成德寺村
百外男子也年五歲大甲申
御尋以也身年五歲大甲申
交成德寺村死住之妻成德寺

甲也住之友也教之德也
公男身年五歲大甲申
如列也孫成德寺村死住身及妻
如賀國孫住之身年五歲大甲申
本改派人之身年五歲大甲申

寬永六年己卯年十月十日
歲六十年歲葬地身年五歲大甲申

高岩

高岩

母

家女

妻

菅原氏

元和九年庚午年八月廿二日如賀國

出生

右戶田守菅原氏長女正田公時

治和知事

天正年中尾加長之子河津守

德奉仕討死出外是為守

源人仕正田公時

法揚院棟達 御守

寛文元年七月廿二日如賀國

河原氏

右田守河原氏

任付

同正辛亥年三月廿四日任付

元禄八年壬午年十二月廿二日任付

任付

同十七年九月廿二日任付

年也京冬冬冬冬冬

法名河原氏院前法合

子田守

子田守

母

家女

妻

菅原

寛文七丁未年正月日不知之民河原
出生信如式不知

旅極田山殿

元禄八丁亥年十二月十八日文如式

高若遠智若市意小菅原入其良

之氏不知

同九丁酉年十二月十八日山如式

山若入其 信守于其如式不知

由永元 早申年十二月日

文眼院様 奥上 御為 八山若良山殿 御初之

良之氏不知

西德元辛卯年七月十八日 桐之若良

山 信守如右 信守之山如良

不知名也

同日之妻 己卯年九月十八日 山如式

若良山如式 信守之若良

山如式 信守之若良

山如式 信守之若良

山如式 信守之若良

年六十一歲年過家參寺以葬
法名銀律院鐵肝直心

高僧

三田村母 隱居仕序等 及在法公

母 遊女

妻 高僧在村中親女

室承三丙戌年 月 日 示 江戶 如也

有德院採所

享保十二年未年 六月廿八日
高顯真及御書院等 示 示 示 示
注之長 示 示 示 示 示 示 示
示 示 示 示 示 示 示 示 示
同年九月 示 示 示 示 示 示 示
透 示 示 示 示 示 示 示 示
示 示 示 示 示 示 示 示 示
示 示 示 示 示 示 示 示 示
示 示 示 示 示 示 示 示 示
示 示 示 示 示 示 示 示 示

貞曆九年己卯年九月十七日死
年五十九
法名乾亨院即南席安

時雄

小長谷村

母 姦女

延喜三年六月十日小長
谷長谷川公高中子小長也谷
守長時興中子小長也

秋之

戸田真人

母 子所者中顯女

妻 吾山子

享保二年八月二十日

戸田

十有傳

延喜元年申年四月廿二日
母高橋

家督也下之妻名敬菊之同
 而封拜妻後母後為后之信後
 如文付小重信想戸川内御所
 之記之也成
 同年十月十日之書院也五松平
 未女西邊也也為入也 信可也初
 女也也下 吉山信後也也也
 病重也守小重信入也也也也
 同日丁卯年九月十日之書院
 御先小重信入也 信可也也

性在子也信後也吉山信後也也也
 竹中周信也也也也也也也也也
 女也記之也也
 西曆三美也年 六月也也也
 總之也成也右面也也也也也也
 日八也也也年 日月也也也也也
 若也也也也也也也也也也也
 明和八年也年 六月也也也也也
 主馬也也也也也也也也也也也
 皇承三 申年也年 十月也也也也也

谷村九郎 孝子小長谷高江守
父子之方名直山論成 志成也
表江高 達治也 行行程九郎
故也 門外也 行行小右三行
日月也

御目見遠 志成也 行行
明三乙未年 二月十日 御免也
行行也 後和年 志成也 志成
也 志成

日人己未年 八月廿九年

幸也 日守之 葬

法名 源雲院秋峯 淨輪

右 祐一 成 右年 志成也 志成也

中 綱目 志成也 志成也 志成也

志成也 志成也 志成也 志成也

志成也 志成也

志成也 志成也 志成也 志成也

志成也 志成也 志成也 志成也

志成也 志成也 志成也 志成也

志成也 志成也 志成也 志成也

洛陽中一冊... 則在... 函... 書...

洛陽沈樓入

上院... 其上... 通全備... 題... 上床... 冊... 入

安永八巳亥年... 洛陽... 中... 員... 福... 中... 道... 瓜... 仁...

昌禮

何村... 紀... 中... 延享二... 年... 月... 日... 親...

着神保川右邊(河村)伊呂波子、
伊呂波子、
伊呂波子、

昌眺

三才之旨
三教示法

母、子胤長外中娘女

明和四丁亥年八月廿九日、
經後樂、
經後樂、

来

三才之旨

三白指

母、娘女

延享四丁卯年十月七日、
寛延四年七月十八日、
元仕、
法名、

三才之旨
三白指

祐民

母、娘女

三才之旨
三白指

父产田要人祐之实子次男
山形小次郎元产田所不命
寛延四年七月廿六日死
要人成小善信但不知大孝子
之良次男想从之信信从自
口年十月十日形也西風之
瑞田有信与友之信信信
大孝子甲辰
安永八己亥年十月廿八日
人子信之通海式之甲辰

之信信中田信之信信
如父对小善信但不知大孝子
之良次男

云明元辛丑年
所去院高年田但馬守被
入之信信口辰十日

若若様
取之信信信信
口年七月十日花房
信信

門下己巳年七月十日傳傳式
部中補記：五成个后

後明地様 豊元所 以後

門下丙午年 里十月末日 西九
内書院 著者 唯今述 通下 亦初
与於 蜀 子 縁頼牧 野 録 中 及
と 後 後 以

門下戊申年 六月朔 山 亦 年

内膳 西 組 子 亦 成

寛政 二 庚戌年 一月 月 之

河 幸 水 亦 亦 初 台 和 年 伊 豆 亦 亦 亦

信 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

寛 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

門 下 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

口 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

八月西辰年三月十日卯時生
 与子 修其以服之由幸而心之
 後 与增回安藤了中
 月九丁巳年十月月写菅原信
 空与如 子如
 月十庚午年十月月与巨城
 日向与如 子如
 但私与和又于四年八月与是也
 个与加其与是也去場与是也
 川仁儿年月日与是也

林之清男
 之向清七高

祐光

母 康女

明和二百零一年六月廿六日
 同定中御公殿小善清如御公
 信十部与清各系之知中事
 与如少也 与如又与是也
 与中 与子
 明和二百零一年八月十日
 半子与是也 与是也 与是也

從逸

产田十部

母 家女

寛政十戊午年 戌月 右從逸

俊和智 十部子 子孫

祐惟

产田十部

母 家女

從逸

产田十部

母 家女

建母

保母 十部子孫

實父

产田十部 佐光伴

實母

家女

右中三郎 從逸 佐光伴 子孫

产田十部 祐光伴 子孫

寛政十戊午年 十月 七 祐光伴 子孫
所書院 十部 佐光伴 子孫
佐光伴 子孫 十部 佐光伴 子孫

年小女子仕度成身彩也
川千代平白月七子彩一画
青子 此白山月山
以故少服菅原伊空子中殿

女子 小女子 产国上御一従迄書

母 心御金銀 條石六子之厚命女

右 也 何 子 云

高 三 百 集

高 三 百 集
高 三 百 集
高 三 百 集
高 三 百 集

寛 政 十 一 年 巳 未 年

三 回 年 巳 未 年
西

申

四月廿七日

先祖書

少府有沈極名
也
言沈
友外

友外氏

千七百九

坂田宗常

氏
用
坂田宗常

先祖書

藤原性

戸田

元黑田

家後六号
同家後巴
幕後同外

氏族分録先代儀相録不申

一元祖

本國・三河
生國 不知

黒田沼部尾傳 吉派

母 不知

權現様

清和公上天下三 甲午三月申日

小牧河對陣之節陽儀比同年四月九日

長久寺... 白... 所為... 御... 討... 且... 後

慶長年中... 信長... 國下... 代官... 作... 細... 書... 丙... 亥... 年... 亥... 燒... 亥... 燒... 夫... 仁... 五... 知... 不... 知

書 不知

吉... 氏... 氏

一 二代目 生... 不知

無 不知

戶... 田... 友... 九... 郎

台... 住... 公... 所... 宗... 姓

慶長... 廿... 年... 九月... 信... 州... 上... 田... 山... 所... 住... 氏... 傳... 味... 芳... 山... 前... 住... 所... 無... 也... 已... 珍... 勅... 任... 門... 所... 傳... 地... 所... 子... 子... 一... 派... 漸... 今... 矣... 後... 了... 了... 以... 矣... 味... 芳... 崩... 不... 任... 順... 之... 朝... 下... 是... 本... 所... 傳... 有... 是... 然... 所... 自... 公... 中... 一... 知... 是... 近... 各... 未... 還... 回... 了... 也... 也... 傳... 上... 是... 改... 戶... 田... 氏

且... 後... 永... 井... 作... 爲... 傳... 傳... 燒... 不... 同... 矣... 但... 以... 千... 後... 所... 傳... 自... 行... 以... 爲... 傳... 戶... 寬... 永... 二... 年... 九... 月... 二... 日... 所... 判... 也... 其... 載... 之... 心... 所... 行

相... 傳... 國... 不... 任... 知... 所... 國... 村... 即... 百... 武... 後... 石... 邊... 水... 山... 所... 傳... 在... 亦... 地... 村... 即... 百... 武... 後... 石... 上... 地... 國... 傳... 自... 行... 以... 爲... 傳... 戶... 百

三指之石中平修壽之... 三指之石中平
修壽之石中平... 今世... 紀...
三指之石中平... 今世... 紀...
三指之石中平... 今世... 紀...

寛永二
九月二日

戸田 宗平

戸田 宗平

其後... 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...
其後... 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...

書 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...

三休日
母上戸田宗平

戸田 三十一

其後... 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...
其後... 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...
其後... 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...

書 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...

四休日
母上戸田宗平

其後... 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...
其後... 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...
其後... 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...

五休日
母上戸田宗平

其後... 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...
其後... 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...
其後... 宗平... 宗平... 宗平... 宗平...

宣德八年三月廿二日

葉口也

宣 宣德八年三月廿二日 宣德八年三月廿二日

之什日

宣 宣德八年三月廿二日 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日

宣 宣德八年三月廿二日 宣德八年三月廿二日

布衣
寛政五年十一月廿一日
刑部省
御用
御用
御用

書
右向
光通女

寛政二年
九月
御用
由男

女
天保六年
御用
御用

天保六年
御用
御用

天明八年
御用
御用

女
御用
御用

女
御用
御用

右
御用
御用

寛政五年
十一月
御用
御用



末
十二月晦日出

系譜

本
後

為系式
六百餘番。坊田之方也

後堂肥後書

後系氏
後堂

似藤之紋

藤之紋

藤之紋

藤之紋

堂ノ古文字

ナハ破糺

堂ノ古文字

ナハ破糺

堂ノ古文字

大藏冠藤之之酒風禰守燈軍之系
子常高氏之補之先海流之堂之
系盛六代系系將監之良以二男

良利

后堂主馬 恙名右高助

抄

那之馬首良列女

妻

日根理方良再女

台傳院極 沖代將監良以家督或子之

内

實寬永六己年十月日而忽子不見
將監良正也子不之有良自良利
抄之也少力家子後年良良良良

以書院者入所者入也 經年良良良良

然之也

實文二京年三月九日力良良良
病死信不泥若祥雲寺上葬
法名桃源院玄峯宗要

二代目
良連

后堂仔源寺 恙名右高助

妻

日根理方良再女

良父

以少世能極念而正也
小出甚高寺師重望

実母 秋田安房守女信成重妻女

妻 養父之島良利女

良勝 養父之島良利

母 家女

良利男の子に生れし母は養子に成り
以後出生仕始成り其母は生れ死

女子 養子信成守良妻

母 日徳聖左京亮女

女子 早也

母 家女

右信成守良直美小出其母也

三男之信成守良直美其母也其母也其母也

養子也 信成守良直美其母也

養父之島良利信成守良直美其母也

百治元成年八月日

養父信成守良直美其母也

同二年七月日不知以何種牧野
左御多乃組上被召領入

信付

寛文二年十月九日養父又誤
死

同八年同日不知何處改
信付

同十二年四月九日流
信付

延德三年四月十日

御案為津和野信
信付

同七年九月十日不知何處
信付

常惠院様御代

延至八年八月廿八日

清水尾院之信令常惠院御代

信付

信付

同九年七月十日不知何處
信付

信付

同十二年二月十日不知何處
信付

信付

同十二年四月十日不知何處
信付

同年六月一日 孫炮改 任付公

同年十月十九日 切吉丹家門改印後

任付公

元禄二己年八月十日 仙石和氣与元
由安荒 濱下之 任付公

同大申年二月十日 濱下之 任付公

同大申年四月廿八日 濱下之 任付公

同大申年 任付公

同年十月廿七日 濱下之 任付公

中屋彌治 任付公

同年十一月十日 濱下之 任付公

任付公

同七年 任付公

同八年 任付公

任付公

任付公

任付公

任付公

任付公

同十七年 任付公

河邊代名 任丹

同十二年九月十日誌

河不涉善 河先向存中德出編書

有人言管為老人跑了水初言其

何身

同十二年二月廿一日 河邊代名

任丹虎馬外 河邊代名任丹

河不涉之 同十二年四月八日七接

河不涉南東川 河邊代名 任丹

法名大德院忠山元史

一 河邊代名 任丹

今今新行 任丹

河邊代名 任丹

一 和歌 河邊代名 任丹

一 源氏相堂 任丹

一 河邊代名 任丹

河邊代名 任丹

一 福祿壽 河邊代名 任丹

一 河邊代名 任丹

一 御色紙 同年九月十日 湯原

一 橋野鳥 同月己未年十月十日 湯原

一 御小古刀 湯原 年月日不悉

秋紀不也相有仍廣

湯原系相也銘多子御七新也

一 梨子地 湯原 湯原 年月日不悉

右 通 四 月 十日

良季 友堂自馬

冊 友堂自馬良利女

妻 小出意吉 伊重 伊好

西原之付之鳥良季 離縁仕小出意吉

良季 友堂自馬 湯原

重子 保年 年中 肥后 吉良 福在 氣自 示

引 瓦 前 中 在

元文 四年 年 四月 十日 湯原 仕小

右 自 馬 良季 友堂 自 馬 湯原 係 書 人

以 書 入 氏 行 付 松 平 信 馬 吉 子 也 也

此處病者之子故也其父伴隨也其母
 通涉如來之後後者之月也
 之後
 西德之元年七月十三日病死此後
 祥雲寺之葬
 法名齊舉元高

良友

為業示物

病者之子也其母之病死也
 母 小出甚老而之也

良親

語未也

女子

甲府初喜之也
 伴舟相付也 胎春妻

女子

母 小出甚老而之也
 川流子
 小出甚老而之也

母 家女

三氏
 良親

為業紀後也

法 伴舟相付也
 法 伴舟相付也
 法 伴舟相付也

美父

為業自馬自香子

母

小出甚老而之也

前妻 折木信海与越智女
后妻 折木信海与志統妹

右 肥後守 良昭 氏 主 馬 守 氏 子 二 男 也
以 左 氏 也

元禄十二年二月十日 任 播磨守 氏 也
享和元年 通 孫 養 子 氏 任 行 跡 守 氏
之 氏 也

安永元年 申年 正月十二日
常憲院 柳 御 代 申 奏 以 上 任 氏 任 氏

同三 申年 二月十九日 奏 文 任 播磨守 氏 也
任 氏 也

有德院 柳 御 代

享和元年 申年 正月十八日 任 氏 也
任 氏 也

同七 丑年 二月七日 任 氏 也
任 氏 也

同十 午年 正月十一日 任 氏 也
任 氏 也

同十八 丑年 六月 任 氏 也
任 氏 也

二條大板古喜故合方及在病

信信院様御代と古御之儀初御身在

於白色沙彼 御免御合身 御身

天孫身於白色院御身 御身御身

惠氏直島自由ハカシ

御身御身三百年 御身御身六十年

御死仕南河川 御身御身御身

法若結新院勇山御威

思行月

良由

友妻胞後書御身御身

冊 中多伊藤古志統妹

妻 中多伊藤古志統女

女子

冊 池田良方御身御身

御身

女子

冊 御身御身御身御身

美女子

御身御身御身御身御身

右紀傳書及由我

右德院標所代

元文二己年二月十九日御旨

御自見任

至曆二事年八月廿三日紀傳書及由我

のり隠居名紀傳書及由我

為余子及奴の

同三年九月廿六日御旨

同三年十二月廿八日御旨

同九年十月廿七日御旨

任付の

同三年十一月廿八日御旨

同十年庚午七月廿九日御旨

任付の

同年十二月廿九日御旨

同年十二月廿九日御旨

同年十二月廿九日御旨

同年十二月廿九日御旨

同年十二月廿九日御旨

同年十二月廿九日御旨

御免其成所之好

明和元年六月廿八日大田善治

行月

同三年八月廿五日翌年八月廿五日

大坂本町書物部

同文子年十月廿七日只指其成所之好

南泉川大田善治之好

法名澤海院前山所翠

大田善治

良舉

後重犯指書

和冬書部
後山書部

办

如多作德与志流女

妻

原德与志流与志流

安永三年十月十日、在朝河色德德公

行月

同年十月十日、在朝河色德德公

天保元年八月廿七日、在朝河色德德公

行月

大田善治

女子

長谷川丹堀与膳高妻

後院極所代 切多河邊寺是流女

室曆十二未年四月終十三歲

終身位

孝恭院極所附以准身 行方大更位

位

以和元申年十一月

孝恭院極 所附極身乃以院身位

後院極卷為二从位

同平十二月大更位位 中覽

口二百年二月十三日 神身以極身位

口年十二月大更位 位身

口三戌年正月位

孝恭院極所附極身乃以院身位

後院極卷為二从位

口年四月十八

孝恭院極 所附極身乃以院身位

後院極卷為二从位

同文子年十二月大更位 位身

口年

安永六年正月十五日

孝恭院様御位

所成之旨馬引河同以 終日志願一羽
村多々身同方之御殿之御位也

同七年十一月一日時馬一足御位也

同七年十月六日御馬一匹御位也

同七年十月六日御馬一匹御位也

孝恭院様 荒津川御位

同八年四月十八日御位也

同八年四月十八日御位也

同九年八月十五日 中興御位也

同九年八月十五日 中興御位也

御付

同九年八月十五日 中興御位也

同九年八月十五日 中興御位也

同七年三月三日 御位也

同七年三月三日 御位也

同七年三月三日 御位也

同七年三月三日 御位也

同七年三月三日 御位也

御位也

と
夏

系譜

未三子
南紀紀前子分

南紀紀前子分
南紀紀前子分

南紀紀前子分
南紀紀前子分
南紀紀前子分

菅原氏

藤堂

大藏冠源是之流胤法守府將軍子常
 存因氏經少輔高光流胤法守院孫
 百源念之仲時軍法武定隨後代之進
 藤原氏進清八友之傳也始創藤原氏
 上野所不云字改名藤堂之字也藤原
 之字光之在子中而藤堂之字也藤原
 之字多之在子中而藤堂之字也藤原
 之字近人來堂之字也藤堂之字也藤原
 之字地也之字也藤堂之字也藤原
 之字也之字也藤堂之字也藤原
 之字也之字也藤堂之字也藤原

良之故
習故

堂ノ字以之
一少破情也
三少破情也
九、由岩所

右岩後ハ古ノ名不云人ノ岩負ル名ノ
トニヤクノ作ノ形ノ田ノ形古ハトニヤクニ
唐ノカノ作ノ由ヲ用ル事ハ其ノ中
右岩負ルトニヤクノ作ノ形ト云フ

幕之故

九ノ日、堂ノ字前

氏記ナドハ無ク後風流田
云者所給河橋守村景三男

景盛

三ノ日

應永六年六月丙午正五位下ニ位

景良

右近江守

足中興為祖名ハ波屋所ハ音讀下ニ位

良有

近江國志上郡、自在寺村ニ在ル
石ノ名ニテハハ分限羅半

誠後

將監一男曰ハ良有、公仁、以弟曰少介
石志

神在在馬 誠後 良有 白雲

良玲

良有、一男曰ハ良有、公仁、以弟曰少介
信長ニ屬シ、公方、求取、其、公、仁、以、弟、曰、少、介、刻
在、上、信、長、之、名、派、跡、少、介、有、三、右、文、海、山
詳、田、子、子、子、有、三、右、文、海、山、子、子、子、有、三、右、文、海、山
賢、公、男、子、子、子、有、三、右、文、海、山、子、子、子、有、三、右、文、海、山
云、公、仁、年、八、月、十、七、日、死、京、葬、地、不、知
号、白、雲、不、悅

之別見信濃守信賴自其信子親成信子
 彼大救ヲ引違薩長人下ハ其意必ハ先
 有テ不ハ其城ヲ墮ル傳ハ將ヲ電至ル其意
 官部法中ハ忠電リ名城ハ薩摩跡夜討
 御々及親成也良家一著ハ助替ハ因茲
 政障ハ後加増有テ於今力ナ石成其門
 公所攻冒思死ハ其年ヲ墮ラテ身退
 居スト云モ又其有テ其見ト云ハ昂傲
 爲居新ハ其別親ニ子石ハ其意ハ五
 夫ハ其年ヲ其後
 首長其年
 神君ハ良家初ハ所礼ト云ハ是カハ信
 所爲近所薩本ト云ハ其ハ其臨臨ハ其將監

上中長百邊跡 經 是則良以意之
 首長八安年 二月ハ死六十一在世ハ所
 洛陽東山知恩院在日 信重院建立之園
 繪像ハ其古寺ハ其
 号信重院書以字係

良政

長政 長政 長政
 長政 長政 長政
 長政 長政 長政
 長政 長政 長政

良家也長男ハ其下云ハ其信子不規信長公
 化界所分ハ其信重信重久信長也其信
 其信重信重信重信重信重信重信重信重

中ノ下ノ古ノ古ノ味方美多クヨリ五ノ子ノ久
千後神皇系ノ三ノ長久ノ武ノ功ヲ
因白ノ為ニ以テ云々所ヨリ 徒ノ位ニ去テ著ク任
令長孫一ノ下ノ年ヲ終ルヨリ外ノ子ノ日ノ後ノ
死ノ石ノ存ルニ由リ此ノ死ニ次ク云々後ノ孫ノ少
之有テリ也 於運生害終依ノ長孫ノ
乃良政ノ統ニ功候ニ究ルニ云々同ノ
ノ良政ノ統ニ功候ニ究ルニ云々同ノ
外ノ孫ノ下ノ年ヲ終ルヨリ外ノ子ノ日ノ後ノ
死ノ石ノ存ルニ由リ此ノ死ニ次ク云々後ノ孫ノ少
之有テリ也 於運生害終依ノ長孫ノ

皇ノ入 魏ノ他ノ異ノ國ニシテ下ノ年ノ終ル
度長女ノ子ノ年一ノ年ヲ寧ノ相ノ景ノ常ノ隆
行ノ良ノ我ノ信ノ後ノ孫ノ終ルヨリ此ノ死ノ

神君

此ノ死ノ終ルヨリ此ノ死ニ次ク云々後ノ孫ノ少
之有テリ也 於運生害終依ノ長孫ノ

神君

此ノ死ノ終ルヨリ此ノ死ニ次ク云々後ノ孫ノ少
之有テリ也 於運生害終依ノ長孫ノ

神君

此ノ死ノ終ルヨリ此ノ死ニ次ク云々後ノ孫ノ少
之有テリ也 於運生害終依ノ長孫ノ

初身一の御方 上意と兼て曰ふ所
一、（たゞり）（たゞり）（たゞり）（たゞり）
誠然に御事、城勢身と云ふは、
後所は進、（但）高虎、（亦）高虎、
七、（亦）（亦）（亦）（亦）
為良政、（亦）（亦）（亦）（亦）
於、（亦）（亦）（亦）（亦）
上意、（亦）（亦）（亦）（亦）
列、（亦）（亦）（亦）（亦）
況、（亦）（亦）（亦）（亦）
取、（亦）（亦）（亦）（亦）
度、（亦）（亦）（亦）（亦）

某

刑部少輔子元、（亦）（亦）（亦）（亦）
あ、（亦）（亦）（亦）（亦）
江、（亦）（亦）（亦）（亦）
早、（亦）（亦）（亦）（亦）
忠、（亦）（亦）（亦）（亦）

母

良、（亦）（亦）（亦）（亦）
為、（亦）（亦）（亦）（亦）
有、（亦）（亦）（亦）（亦）
文、（亦）（亦）（亦）（亦）
御、（亦）（亦）（亦）（亦）
取、（亦）（亦）（亦）（亦）
度、（亦）（亦）（亦）（亦）

神
多
子
長
七
年
亡
因
初
行
良
弟
存
入
道
宗
君
上

女子
小
坊
色
正
一
書

母
久
住
及
道
之
義
利
也

良
達
子
之
主
書

母
口
上

父
行
死
時

子
長
女
度
年
十
五
入
道
名
稱
為
良
達
初
年
有
氣
結
書
在
右
邊
口
上
之
也

若
長
七
年
死
二十

良
心
得
照

母
口
上

書
初
年
有
氣
結
書
在
右
邊
口
上
之
也

後
書
初
年
有
氣
結
書
在
右
邊
口
上
之
也

生
大
和

初
年
有
氣
結
書
在
右
邊
口
上
之
也

初
年
有
氣
結
書
在
右
邊
口
上
之
也

神
君
口
上

口
上
之
也
良
心
得
照
二
子
存
口
上
初
列
於
序
多
部
仲
氏
之

先方長尾越前守有旗幟云侍者
於此乃始成中ノ意 有右無左也
乃以五志ヲ送 由中ノ子 中道ノ節 而
汝軍 可改大坂工所 若三人 獨捕 汝軍
所感 汝軍 由中ノ子 中道ノ節 而
追テ京郭ニ 風吹有テ 未可月長ク 以テ
大坂 勢 不知 押 あり 由 坂 元 何 者 否 否
若年方若ク 群 汝軍 六 敵 大軍 有テ 幸 瑞
子 小 勢 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍
集リ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍
城中 人 引 引 氣 下 儀 不 畏 汝軍 將 賊 六 敵 軍 有

連レ 何 者 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍
如 大 坂 勢 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍
伊 勢 峠 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍
道 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍
汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍
跡 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍
歸 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍
汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍
地 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍
將 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍
友 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍 有テ 汝軍

急云氏経夜以敵上之新火ヲ撰ク
而小ト云不道焼働来リテ其用之ニテ耳
去ト有之シハ夜明テ其ト是故敵ハ早夜
中ト引テ一人モナシ南ト煙リリテ元夜
此所ト追リ氏家ヲ皆建殺シテ不及一
戦を以テ爲リ大坂ヲ出長途ニ被シ是敵ニ
定テ遠ク引テ追テ付テ下道ニ向テ
先ト是敵ハ此道ニ是世有テ巡後リハ此
兵ニ其生捕テ其方細開テ其山道ニ送テ
固テ其内者ヲ其通送ス切テ其方精
強ク其心奥由テ新在為ハ恒所ト出テ其

兵ト其口殺念ハ其堂口出張ヲ其ト其
加ト依テサシ不路ニ被テ其白大和河内
境田舎ニ至リ暮テ其方其出シ夜モ其
不止山中夜々人殺モ被シハ其夜ハ其
道取テ其方其方其河内境ニ其方其敵
味方其強ニ其方其強ニ其方其強ニ其方
其方不叶トテ其方其強ニ其方其強ニ其方
堂奥田舎ニ其方其強ニ其方其強ニ其方
其方其強ニ其方其強ニ其方其強ニ其方
其方其強ニ其方其強ニ其方其強ニ其方
其方其強ニ其方其強ニ其方其強ニ其方
其方其強ニ其方其強ニ其方其強ニ其方
其方其強ニ其方其強ニ其方其強ニ其方

申凡才多國ヲ若ハ申凡同ハ多ク故我
 當下代官トハ一人リ行向コトハ存下
 領ト依テ別官ヲ使ヒ彼邊ニ屯ニ侍官
 出テ侍居ルニ敵敵ナク押取夜出
 下コトモノ方ハ過 依テ初食ナク
 捕(見)六文アリ彼是ハ及ハ出向コト
 中心公由テ首方又攻ハ中モス位進也
 昂彼者ト捕捕ト拷問ニ執テ燒堂リ
 穿數令ニテ五捕執
 西上様 御馬ノ日限倉リケレハ多ク口向キ初
 皆ハ和良江際キニ集メ食リ定ムノ

以ん塘丹後子存存ニ分分ハ極ノ押系
 一日也先コトリト之休め日あり早旦
 大和リキ之立田耕リハ向ハ分
 夜急夜堂由向等ハ又ハ七八町程リ
 過高村ニ陣立リ向高方ハ使ハテ身
 陣断アリ先直ニ向方ノ守遠ニ若シ夜
 討来比助勢欲威運テ陣スコト何モ
 進若ハ宿早以方陣リ我等ハ食糧等
 用急仕テ降シ我等ハ今夜付
 この先も又夜討取ル者ハ要害能ク分
 来也存下存下各所ヲ取ル也

未明大坂(相)下欲して陣宿して折立
ケル。此(安)より及(堂)又(全)信(基)次(八)次(折)が
大和(大)将(ヲ)兼(シ)て(石)手(一)百(百)石(備)騎
引(年)幸(柳)川(ヲ)為(高)テ(道)明(寺)長(ニ)シ
征(鳴)陣(ニ)テ(和)タリ(和)文(ハ)千(ノ)東(國)勢(ノ)
先(登)こ(レ)小(波)新(出)張(備)ヲ(立)テ(是)時(ヲ)
近(メ)矢(施)シ(名)時(ノ)毛(ヲ)揚(ク)シ(和)後(者)ノ
会(中)分(青)澤(澄)ニ(志)タル(武)志(改)以(出)出
和(念)堂(正)婦(長)也(堂)次(ト)遣(リ)入(ル)也
互(ニ)多(ク)初(メ)人(足)リ(足)テ(和)念(ノ)軍
士(山)而(後)至(行)走(者)ヲ(彼)者(首)ヲ(揚)て(和)

或ハ(樺)山(以)て(是)一(書)に(云)又(敵)軍(ノ)遠
後(大)陣(云)者(説)幸(ニ)抽(テ)和(念)ノ(陣)死
来(テ)堂(正)ノ(家)老(井)村(助)ヲ(存)シ(和)念(ノ)
体(ヲ)首(ヲ)先(毫)又(城)方(ノ)一(書)有(リ)ト(云)也
抑(以)一(戦)後(後)尸(存)骸(敵)ハ(僅)三(二)千(計)也
ト(云)ケル(ヲ)云(テ)其(決)計(得)血(氣)勇(士)也(ハ)
一(人)ノ(名)モ(セ)ト(也)也(月)六(日)曉(我)旗(本)
也(子)騎(有)信(引)連(テ)行(山)ノ(小)和(和)堂(友)
堂(將)監(良)ハ(大)和(川)堤(ノ)邊(ハ)深(田)ニ(テ)
是(立)也(ト)ハ(河)系(ノ)道(前)ヲ(小)南(ノ)方(ハ)山
腰(ヲ)廻(テ)見(レ)小(敵)ヲ(辨)道(明)寺(長)也(和)念

東に白山目一城にて競末より
之より走、松倉、不遜山ヲ戦ヒトテ山
険此處敵、大勝、石籠之立、石不云
意、我无、後、後、石、一、軍、功、馬、好、京
而、康、後、地、音、矣、ケ、ヒ、色、南、小、吹、テ
新、松、倉、堂、正、山、ガ、下、テ、友、堂、良、心、ト
一、コ、燃、テ、後、友、乃、旗、中、ヲ、押、進、下、ニ、也、ト、松
合、ニ、夕、ノ、戦、ト、ト、知、テ、あ、ウ、ク、元、知、敵、方、ノ
遊、軍、足、ラ、リ、テ、一、濟、部、田、ノ、ク、ロ、シ、借、ヒ、ラ、シ、ト
成、テ、夕、未、ト、松、倉、ノ、中、者、亦、元、ク、將、監
良、大、馬、ト、カ、甲、冑、ノ、共、實、法、々、道、ヲ、元

口、水、原、山、倉、倉、亭、小、地、七、形、計、所、敵、無、ス
中、心、松、倉、市、心、ハ、中、者、少、ク、引、籠、修
深、入、テ、六、敵、中、ヲ、先、切、リ、掛、某、ハ、依、ニ、修、監
良、心、計、所、敵、ト、敵、ト、テ、夕、向、テ、小、溝、掛
ヲ、掛、先、所、於、テ、松、倉、ノ、家、人、田、中、ノ、友、堂、
迹、夕、地、未、テ、全、我、ハ、此、ノ、地、リ、引、為、良、心
を、ト、同、シ、テ、於、家、ノ、ウ、碎、シ、固、テ、家、未、坂、以
此、是、山、倉、石、未、加、友、角、在、信、等、能、毛、リ
廻、テ、松、倉、ノ、家、人、在、田、中、ノ、友、堂、ト、自、在
八、新、夕、西、石、口、竹、打、初、石、未、孫、於、家、修、
テ、外、海、人、カ、テ、指、加、テ、戦、リ、云、ニ、甲、冑、武、未

亦濟ハ不レ過レ敵ノ多ク勢ハ孤ニ暫キ存シ存シ
初メ將領之レ交ス死ル也ニ相念皇宗ノ眼ヲ
實ニテレ以テ速ク取レ將領自ラ幸ニ奉リ國ヲ
以テ子ニ傳テ其ノ多ク同情也ノ家人ノ而施之也
若シ弟ノ功ヲ皇宗ニ記スル也ハ不レ實ニ也ニ公并
孤ノ之レ臣也敵ハ汝ノ大勝成キコシ孤ノ信ヲ
味カシテ小レ飯ヲ一クリ立スル也ハ如シハレサリ也ニ
一人ニ無レ敵ニ押シテレ不レ見テ予ノ内也相念日ノ家人
天野中ニゆレ敵ヲ細ク見テ折リ其ノ勢ヲ夫ヲ
ナクシテ大軍ヲテ一キル敵懸テ足ニ疑シノ
三六ニヨトクヲレ尾ヲ將領スル日ノ大軍ヲテ守リ也ニ

上ノトレ之レ及シテレ日ノ大軍ヲテ守リ也ニ
先軍兵足ヲク大勝スル同士押シ後且以テ明シ
敗軍ノ味方ノ便率是ニ宗ヲ將テ付シ也ハ
孤敵之レ進ミ退クヲレ首級之レ以テ付シ也ハ相念
皇宗ハレ性ノ宗ヲ為シ命ヲ不レ速シ敵軍
給シ居ク也ハ云フ也ハ山中將領也ハ也ニ
是ノ多ク也ハ池ノ中ニ之レ後也其ノ助ヲ出タリ敵大
將味方ノ小軍之レ上ニ也ハ瑞所將領也ハ將領也ハ
將領也ハ國ヲ守リ日ノ首級也ハ私念皇宗也ハ皇宗
正者也ハ皇宗將領也ハ以テ首級也ハ也ニ
云フ也ハ也ハ後也瑞所將領也ハ也ハ也ニ

人殺欠来テ入礼歌多付元ト其ノ是後
平ラ兄付テ将監之所ト集ル也スリカ
但年テ途リ敵地也シヨリ夫之市正良
以言ヲ採一敵大坂川元ト山岳経遊久
討ルカ知多下人殺テの條ト由シカ
引入重多ク多道種ノ中送りシカハカ
伊達西来ノ乃其後トシト如向敵遠多
元ヤ同心トテ後テ小勢多ク平儀新成
トテ後後止テハ不及リ備トタム物ノ口
今我知中割トテ所コセリ今海此ハ
申下割至ル月七ト三王化トハ城守ト

タレト又テ日ハ和流ハ越前城ニ子タレ
テ中ヨリ急ニ依テ後陣備有誠今我多
富カシコテみ騎三騎先討元ト之旨ハ
業山瓦道リ伊藤川道ト込タレ元今早
場中火城ケ方ト燒立元在道ト道ト道
此方ニテ家入者書里尼抄ノ有テ先
之ト上尾一ツモ正トニ各ニテハ今コト後
将監良ト事
守見承云長年七月ノ日死軍
其ノ遺言云祥多事
早ヲ洪徳元月ノ教示也

良重

母 桂伏 玄著

十二日、所兄と之、此の事、右の如く、
考、長、其、兄弟、之、月、之、河、内、若、以、長、
解、之、計、死、時、二、丁、之、

女子

母 口上 中、河、内、若、大、博、元、の、書、

良次

母 口上 九、死、玄、著

十二日、所兄と良重、海、上、に、
寛文、四、年、辰、年、二、月、廿、九、日、死、六、十、九、

右、疏、後、堂、衣、冠、等、不、可、少、也、

良正

母 口上 將、監、
教、子、了、道、良、列、女、

右、所、謂、其、父、良、以、存、身、之、法、或、後、之、
男、平、右、衛、門、良、忠、奉、朝、而、死、之、也、
其、母、氏、之、母、方、祖、父、也、念、其、後、身、之、
清、所、謂、口、上、重、正、也、其、母、氏、之、母、二、子、良、
忠、之、母、氏、大、和、也、其、母、氏、之、母、氏、
良、忠、先、良、心、良、利、而、人、之、在、死、命、也、
也、之、也、

大猷云
名凡云

寛永六年己巳年九月
何志少乃父の傳之通
正刻望之介知之可也
月六己巳年九月
兄是秀之入少礼申上
後堂進以之良時中
乃何

良利

母 乃弟仰 二子

母 以上

女子
兄良山と徳之通
後堂進以之良時中
乃何
乃弟仰 二子
乃弟仰 二子

良女

母 以上

初小川坊城久之儀
乃弟仰 二子

實父 小川坊城久之儀

實母 松念豊後守方

初小川坊城久之儀
乃弟仰 二子
乃弟仰 二子

良忠

母 長三郎 年在

後書 伊丹守乃直登女
乃弟仰 二子

生江戸

父息曾有之曰良忠之男タリト云
亡火道命依此傳候之云云
此語テ先般ニシテ良忠之利指カテ
凶娘之出生スル良忠之命ヲ譲ル良忠
母方、祖父叔父良忠之命ヲ大ニ信
申シテ、大老ト并大老ト
石多入、兄者トシテ、又平太
市之孫トシテ、知カシメ、良忠
育ツカシメ、此ノ良忠トシテ、
一ノ上ノ子トシテ、大老ト并大老ト

台化云達

之傳也

神名以親、遺云此等、此ノ良忠トシテ、
此ノ良忠トシテ、亡火到、此ノ良忠トシテ、
此ノ良忠トシテ、市之孫トシテ、良忠トシテ、
此ノ良忠トシテ、良忠トシテ、良忠トシテ、
寛永六、己巳年、八月

台化云、此ノ良忠トシテ、良忠トシテ、
良忠トシテ、良忠トシテ、良忠トシテ、
良忠トシテ、良忠トシテ、良忠トシテ、

大藏云、此ノ良忠トシテ、良忠トシテ、
良忠トシテ、良忠トシテ、良忠トシテ、

所新... 良忠知... 西野... 石... 守... 未... 時... 日... 甲...

守... 未... 時... 日... 甲...

大猷

... 二千石...

口十二... 二千石...

... 長門... 長門...

女子 母 仁念曲皇後之市女

初和之知神尾豐前守等方之嫁也
于後和之知堀東海守等之嫁也
仁念曲皇前守等之嫁也
比丘尼人之嫁也
自貞享五年甲子年六月九日死

良宗 母 仁上

女子 母 仁上
公家
依京之位也
嘉

重經 母 仁上
知和之知神尾豐前守等方之嫁也
于後和之知堀東海守等之嫁也
仁念曲皇前守等之嫁也
比丘尼人之嫁也
自貞享五年甲子年六月九日死

知和之知神尾豐前守等方之嫁也
于後和之知堀東海守等之嫁也
仁念曲皇前守等之嫁也
比丘尼人之嫁也
自貞享五年甲子年六月九日死
浪人仕

良久

小之卯 平八郎

寛文十二年壬午六月廿三日 紀伊大御所

御前

良清

檢校

母 遊女

万治三年壬午二月廿日 伊弉諾

良道

檢校 平八郎

母 伊丹正斎直盛女

寛文十二年庚午四月廿日 紀伊大御所

良賢

九郎

母 助右衛門 美八郎 十花

元禄九年壬午十一月十日 為堂

某

早世

母 早世

女子

母 早世

良好

母 早世 紀伊大御所

元祖平治元年八月廿五日
宣平保中庚子年四月七日
延享二年二月湯流
口内月六日

宝曆七丁丑年十月三日

甲子年二月八日

号玄州院做官之日

成庸

如 甲上

宝曆己丑年十一月廿六日

世并并為成明

良永

忠次郎 平名

母 后堂平八郎良久女

書 山平新吉信

後書 日下新吉信之定守女

生江戶

宝曆七丁丑年十月十六日

天明年三月廿九日

天明三癸卯年三月廿九日

合宜如序

口年九月廿三日死

葬

号

来
传八年
早世

母
早世

女子
母
早世

女子
母
早世

行昌
母
早世
合宜
传八年

延享子三石宮年一百十子小孫治永并
世為子死建於常長去昌幸知身事子

来
母
早世

母
早世

良貞
正吉

母
山本新三信
女

書
山本新三信
女

生
之明三子
年三月
父家知

少考法若依之胎心互死
口口甲辰年 乙巳月亦互 乙巳年亦葬
口口 号久成院是也日知

今之命 早世

母

日下院修定命女

原次命 早世

母

早世

孫次命 早世

母

家女

女子

母

家女

某

某

某

某

早世

母

家女

某

早世

母

家女

急次

母

家女

安永元年甲午九月廿二日
石田院向与祖依之
其子

良光

母

家女

七命

天明二癸卯年四月四日書院書
大久保能光子娘上白下由希 元堂三
出此子以...

良修

十月初五日 三月市 九...

母 行島卯之進信元如

書 関根雄右衛門良尚子如

生

天明四甲辰年三月十日山...

有...

日六... 山性...

甲...

寛政二戊戌年九月...
陽成之良...

某

母 早世 行島卯之進信元如

某

母 吉政 早世 同上

女子

母 早世 同上

女子

母 同上 石井...

東 早世 正
 女子 早世 正
 東 早世 家女
 女子 早世 家女
 東 早世 家女
 良度 早世 家女
 東 早世 家女
 女子 早世 家女
 東 早世 家女
 良度 早世 家女

東 早世 正
 女子 早世 正
 東 早世 家女
 女子 早世 家女
 東 早世 家女
 良紀 早世 家女
 東 早世 家女
 女子 早世 家女
 東 早世 家女
 良紀 早世 家女
 東 早世 家女
 女子 早世 家女
 東 早世 家女
 良紀 早世 家女

西九ノ中ノ事

實父 守伯任為之妻 系福次子

實母 依伯任為之妻 女

妻 實父九弟任為之良修之妻

生口年

寛政八丙辰年十一月十九日 氣身中女子

以修中

女子 母 早世 遺女

右之通湯沙在以上

子之有依 不固近口 生國武系 石浦水通橋内角

西九ノ中ノ事

南形能為之妻

四十二日

寛政十一己未年十二月 為堂九弟任為 血

未三十一ノハハハ

先祖書

と
分家
紀伊守
全十二
友

巻五

百首拾遺書 源田為平書

西元一〇〇〇

百首拾遺書

將軍比年乘隙從代一也... 亂防向於... 系良于後... 時為... 白言卜... 右良將... 幸子

一之祖

生國... 母

右堂... 良家

古... 國... 名... 右...

信長云... 合... 給... 白... 以... 子...

隆... 堀... 乃... 也... 亦... 所... 所...

其付ニ城守一書ニカケルハ均陣ノ後加増スルハ
其門ノ内河野志存ニ譲テ政令者有テハ均
料トシテ別ニ申上ルハ其旨ヲ王侯ノ均
慶長ノ庚子年

相成候ハ
申レリトモ申上ルハ
其旨ニテ遺跡ヲ修ム
同八月廿一日
現自ニ信者此リ
法名信重此云以字源

言
其旨成候ハ良跡也
其旨云男良致
母 其旨成候ハ良跡也

着手ノ時倍長云云
其旨云男良致
其旨成候ハ良跡也

兩上様
其旨云男良致

其旨云男良致

其旨云男良致

其旨云男良致

其旨云男良致

其旨云男良致

女子

門前

中

母

母

友

母

兄良宣... 實又曰甲辰年二月廿九日... 右記和歌...

父

母

友

右記... 國長... 廣長...

拾遺

因... 右記... 國長... 廣長...

河上流ハ前山脈に前より多量に水が流れて
 長谷尾越越ノ布施に水が流れて右の
 可く者上流に流れて右の山脈に水が流れて
 二人瑞穂印多量に分けて流れて
 河上流ハ前山脈に前より多量に水が流れて
 長谷尾越越ノ布施に水が流れて右の
 可く者上流に流れて右の山脈に水が流れて
 二人瑞穂印多量に分けて流れて

西上極

佛之中心より所流りて...
 和念、加ん其流りて...
 丁巳並流りて...
 之長途方しをく...
 不道之り流りて...
 山中及人おる...
 山脈に水が流れて...
 二人瑞穂印多量に分けて流れて...

乃和國之市部
井川村ありて其地
他坊城村ありて其地
沙石少信村ありて其地
大石寺中庵ありて其地
今之志ありて其地

寛永二

二月

御書

予を以て望み

此れは乃和國之市部
井川村ありて其地
他坊城村ありて其地
沙石少信村ありて其地
大石寺中庵ありて其地
今之志ありて其地

かひりりり ちきりりり 判一

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

あまのりりり

万石即後以爲之是也
乃多似以爲之也
何止以以也
味之也

介月書

五五

名

五五

代

右之乃... 年... 官...

乃... 年... 官... 乃...

書

和

乃

後書

後

乃

乃

乃

二男

乃

母

乃

右之乃...

寛永六年己巳年八月下旬に於て分知書付
和名少例ありて北坂考良等あり

女

北坂中地

母 口上

三男

北坂中地

母 北坂中地

右良不美入良政高多

官令承由長年母方池火及内方等以是之
以坂坂考良等知りし由良等分知書付
口上之北坂考良等あり

和名、北坂考良、北坂考良、北坂考良、北坂考良

同十七年辰年三月の初め、北坂考良、北坂考良、北坂考良

北坂考良、北坂考良、北坂考良、北坂考良、北坂考良

母

北坂考良

母 北坂考良

右良不美、北坂考良、北坂考良、北坂考良

女

北坂考良

母 口上

右良不美、北坂考良、北坂考良、北坂考良、北坂考良

之原ハ乙亥年十一月廿三日初紀年七十一
若年也

女子 御子名 神尾有左守重女

母 以上

女子 御子名 依系三位孫守重

母 以上

養女 御子名 山崎仁之助春重

實 公孫 山川坊城冬依信重

母 以上

右養女 仁重有左守重女御 山川坊城冬依
信重有左守重女御 山川坊城冬依信重
山川坊城冬依有左守重女御 山川坊城冬依

三代目 生國子 良以重 昭重
女 皇女 昭重

母 昭重有左守重

寛永四年庚辰年十一月廿三日
同日乙亥年十一月廿三日 昭重有左守重
昭重有左守重 昭重有左守重 昭重有左守重
昭重有左守重 昭重有左守重 昭重有左守重
昭重有左守重 昭重有左守重 昭重有左守重

大藏大臣 昭重有左守重

同正甲戌年之良子、初名ふ男、年一、有弟及弟
善子、仕部方より赴
門年より下り、修習、少希有志、可致、有修、有之
少希、修、門中、七、庚辰年、九、月、廿、日、福地、年、三、七
若、同、年、法、名、優、藏、宗、堂

書 川崎丹波守若細宗

寛文八年四月廿五日

目録 生田武彦 若菜新三郎良宗

寛文八年四月廿五日

寛文八年四月廿五日

大赦云々

寛文八年四月廿五日、下り、有、上、良、宗、正、良、宗、上、也
門年より下り、修習、有、之、同、之、修、習、代、致、上
門年より下り、修習、有、之、同、之、修、習、代、致、上
門年より下り、修習、有、之、同、之、修、習、代、致、上
寛文七年未年、下り、有、志、國、玉、身、に、修、習、を、有
同、志、修、習、の、世、修、習、に、修、習
同、年、より、下り、有、志、國、分、に、修、習、を、有、之、同、之、修、習、代、致、上
同、年、より、下り、有、志、國、分、に、修、習、を、有、之、同、之、修、習、代、致、上
同、年、より、下り、有、志、國、分、に、修、習、を、有、之、同、之、修、習、代、致、上
同、年、より、下り、有、志、國、分、に、修、習、を、有、之、同、之、修、習、代、致、上

同年三月五日 於白河府 門前
の事ありて了内親方 仰有るは又高直
の事 翌年二月十日 高直改め 高直
振武方但利 信俊
口上 翌年二月十日 高直改め 高直 信俊
由瓜於り高直 福系 徳列 信俊
延宝元 翌年二月十日 高直改め 高直 信俊
伊予 口上 ありて 信俊
同二 甲子 年 丁酉 十日 高直 改め 高直 信俊
信名 貞山 殿 宗 宗 宗

書

高直

秋田 早人 正 幸 信 女

書

信名 貞山 殿

女子

伊予 信俊

高直 改め 高直 信俊

母

秋田 早人 正 幸 信 女

女子

早世

母

口上

延宝 九 年 三月 十日 高直 死 年 五 十

信名 貞山 殿
又 子 信俊

書

高直 改め

高直 改め 高直 信俊

母

口上

女子

丙少時住
戸田初夜住

後叙久右の貞淑言

母

後叙久右の貞淑言

女子

少時住
母

大尾道(り)の明堂言

母

母

女子

母

早世

貞享元年(り)の早世

女子

母

早世

元禄元年(り)の早世

男子

母

母

子有長(り)の早世

元禄二年(り)の早世

女子

母

早世

正徳元年(り)の早世

六代目

生國言

子有長(り)の早世

母

母

元禄元年(り)の早世
貞享元年(り)の早世
貞享元年(り)の早世
貞享元年(り)の早世

五八

母 口上

有任之 德目口上

享保元年中 口上 有任之 德目口上

次男

母 口上

有任之 德目口上

享保六年年 口上 有任之 德目口上

女子

母 口上

有任之 德目口上

享保八年年 口上 有任之 德目口上

七代

生國孫

有任之 德目口上

長母 口上
實母 口上

享保二年年 口上 有任之 德目口上

口上 有任之 德目口上

有任之 德目口上

口上 有任之 德目口上

口上 有任之 德目口上

此係中地... 又... 一山

安永四年二月廿九日
 全山由河川流石等極
 深之谷其地極深
 二石之谷其地極深
 田原之谷其地極深
 寬政八年正月廿八日
 官年時江有上荒井
 号良任代宗定一山

書

長史
 于官代宗定良妻女

後書

于官代宗定良妻女

五川

後書

女子

中子

松浦氏

母

于官代宗定良妻女

二男

二九

川崎新

母

口上

安永四年二月廿九日
 川崎新

女子

死

松浦氏

母

口上

女子

小

于官代宗定良妻女

母

口上

明和七年... 山本... 信... 依...

三男

如 如上

松浦... 信使

明和七年... 信...

一... 又...

一八廿日

生國...

如 如上

友老...

信... 明和七年... 山本... 信... 依... 三男... 如 如上... 松浦... 信使... 明和七年... 信... 一... 又... 一八廿日... 生國... 如 如上... 友老...

春茶六

依我右之傳利之傳

安永八己之三十一

亮中身口見其為春茶六之傳利之傳

依利之傳

同年四月一日

之傳利

至所元章本手

之傳利及之傳利

之傳利

同之三十一

當行代

同之三十一

同年四月一日

同之三十一

同之三十一

同之三十一

高行代

同年六月一日

同之三十一

同之三十一

同之三十一

同之三十一

書

同之三十一

同之三十一

書

同之三十一

書

同之三十一

安永九年庚子年三月五日 新庄宿 於行是也
沙目之流了代也

了原江甲辰年九月十日 家無於是也 故也 神列
之流 山岳 住 波 波 幸 自 在 祀 入 于 所 為 并 同 儀 也

同 年 十 月 十 日 西 山 國 產 於 云 在 人 之 所 為 也
同 年 十 月 十 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也

同 年 十 月 十 日 結 自 山 祀 神 之 所 為 也
同 年 十 月 十 日 結 自 山 祀 神 之 所 為 也

流川云

流川云

同 年 十 月 十 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也
同 年 十 月 十 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也

同 年 十 月 十 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也
同 年 十 月 十 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也

當所代 行是也 山岳也

同 八 月 申 年 六 月 廿 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也
同 八 月 申 年 六 月 廿 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也

同 年 十 月 十 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也
同 年 十 月 十 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也

同 年 十 月 十 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也
同 年 十 月 十 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也

同 年 十 月 十 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也
同 年 十 月 十 日 山 岳 住 於 是 田 原 之 處 也 及 之 所 為 也



